

## 小野谷機工のタイヤサービスリフト

# エアパワーリフター「APL-3000」



APL-3000 と開発者の武澤圭朗主任

「このAPL-3000は、これまで展開してきたAST2500という商品の後継モデルになります。昨今販売される乗用車は車両重量が重くなっており、そのた

め、空気バネを2個から4個に増やすことにより、能力をこれまでの2倍に増やせる。空気バネを4個に増やして安定性を向上。万一、緊急下降操作バルブユニットで安全に下降できる。同社商品開発部・機器商品開発グループの武澤圭朗主任にお話を聞いた。(木本)

同社が展開しているため、空気バネを2個から4個に増やすことにより、能力をこれまでの2倍に増やせる。空気バネを4個に増やして安定性を向上。万一、緊急下降操作バルブユニットで安全に下降できる。同社商品開発部・機器商品開発グループの武澤圭朗主任にお話を聞いた。(木本)



車重3000キロまで対応

分が分割式になっているのも工夫の一つ。奥行きが狭いピットで作業している店で使用する場合に、スロープの分割部分を取り外してしまえば、シャッターを閉める余裕ができる。使う場合はシャッターを開けた状態で分割したスロープを取り付けばOK。これまでAST2500を使って

る。も車両のバンプがスロープに干渉しない造りになっている。また、有効なホイールベースの長さを最大3420ミリまでとすることで、ロングホイールベース車両にも対応できる。スロープのフロント部分

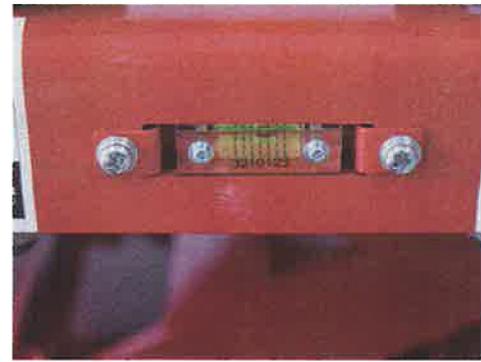
## 安全・安心作業の味方 充実機能満載でデビュー

の場合には延長アタッチメントの併用で対応する。低床車対応では、アタッチメントの受けの部分とスクリューネジの改良で、前モデルより10ミリ低い140ミリまで対応可能

ジャッキアップした場合にバランス状態が不安定になり、タイヤ交換するときに危険な場合がある。そのため、車のバランス状態を自視で確認できる水準器を設置している。作業中にも、使わない時のアタッチメントの収納スペース、ホイールナットなどを収納する小物入れも装備している。



4個の空気バネで安定性向上



バランス確認用の水準器

また、空気バネを従来の品から4個に増やしたことで、能力の向上だけでなく、車両の安定性がさらに増した。シャッキアップする際、特殊なシャッキアップポイントの場合は可動式のエクステンションアームを使う。シャッキアップポイントが高い車両の後部どちらかに偏って

業者にとって助かる機能である。空気バネを増やしたことで、一つ一つのバネにかかる負荷も減少。設定空気圧を65kPaから40kPaに下げたことで耐久性を向上させた。リフトはエアでリフトアップしたものを車の自重で降ろす構造だが、下降時に不用意に



トラブル時もバルブ操作で安全

降ろしてしました。こちらの作業だと危ないというので、バルブユニットの簡単な操作だけで車両の下降が可能になりました」と武澤主任。万一の緊急下降用操作バルブユニットだ。開発で大変だった部分について武澤主任は「能力向上と安全を両立させる部分でした。空気バネを4つにしたことでリフトアップした際の安定性

を追求し、バルブユニットの開発ではいかに安全に降ろすかという部分で開発し、試行錯誤した結果、たどりの着きました。 「APL-3000」。パワー向上と安定性、緊急時の安全性を兼ね備えた新モデルがデビューした。シヨップにとって魅力的なモデルの登場と言えそうだ。納期は2週間。問い合わせは同社本社(0778-22-2124)または各営業所まで。